

アドビ®認定エキスパートプログラム

製品技能試験準備ガイド

Adobe® Photoshop CS5

試験番号 # 9A0-150

ACE 認定チェックリスト

以下の項目を読むと、ACE 認定を取得するまでのプロセスがわかります。

- この準備ガイドを読み、試験のトピック範囲と目的を確認します。
- 学習が必要なトピック範囲と目的を特定します。
- スキルを向上させるためにどの教材が必要かを判断します。
- 推奨教材のリストについては、下記のサイトを参照してください。
<http://www.adobe.com/jp/training>
- 試験の勉強をします。
- 下記のピアソン VUE に連絡して、試験に登録します。
<http://www.pearsonvue.com/japan/index.html>
- 試験に登録するときは、この準備ガイドのトップにある試験番号を参照してください。
- 試験を受けます。受験者のスコアは電子的にアドビ システムズ社に報告され、試験終了時にも表示されます。
- 試験に合格すると、認定証が電子メールで合格者に送信されます。正確な電子メールアドレスを登録していることを確認してください。
- 認定プロファイルは、<http://www.adobe.com/jp/support/certification/community.html> にアクセスして更新できます。ユーザーアカウントを作成するには、スコアレポートに記載されている情報が必要になります。

試験の構成

下表に、トピック範囲の一覧と各トピック範囲で出題される質問のパーセンテージを示します。

トピック範囲	試験のパーセンテージ	質問の数
選択範囲の操作	6%	4
レイヤーの操作	16%	10
マスクとチャンネルの使用	6%	4
文字ツールとベクトルツールを使用した作業	8%	5
写真の調整と処理	16%	10
画像のレタッチと操作	5%	3
Adobe Camera Raw 6 での作業	9%	6
画像のペイントとフィルター操作	8%	5
Photoshop での作業	18%	12
プリント用および Web 用の出力	8%	5

質問数と合格点

- ・ 64 問
- ・ 合格には最低 74 %

テスト内容：トピック範囲と目的

以下に、試験の詳しい内容を示します。

1. 選択範囲の操作

- ・ シナリオに沿った、適切なツールまたは方法を使用した選択範囲の作成
- ・ 選択範囲の保存と読み込み
- ・ 選択範囲の移動と変形
- ・ シナリオに沿った、境界線を調整コントロールによる選択範囲のソフトおよびハードエッジの詳細の取得（オプションの内容：境界線のカラーの除去）

2. レイヤーの操作

- ・ レイヤーパネルでのレイヤーの作成と管理（レイヤーの作成、順序の変更、選択、表示の制御、複製、ロック、クリッピング、グループ化、削除）
- ・ シナリオに沿った、目的の効果を実現するためのレイヤー描画モードの使用
- ・ シナリオに沿った、目的の効果を実現するためのレイヤーパネルの不透明度コントロールと塗りコントロールの使用（オプションの内容：複数のレイヤーの不透明度や塗りを変更する機能）

- シナリオに沿った、スマートオブジェクトレイヤーの適切な操作（オプションの内容：スマートオブジェクトレイヤーの作成、変形、編集および複製、Camera Raw ファイルからの複数のスマートオブジェクトレイヤーの作成、スマートオブジェクトとしてのベクトルオブジェクトの読み込みと編集）
 - シナリオに沿った、画像を組み合わせたコラージュの作成（オプションの内容：開いているドキュメントへの閉じたファイルのドラッグ&ドロップ、開いている画像から別の画像へのレイヤーのドラッグ、Shift を使用したレイヤーの登録、「同じ位置にペースト」および「選択範囲内へペースト」コマンド）
 - レイヤースタイルの適用、カスタマイズおよび初期設定値の設定
 - レイヤーカンパを使用した単一画像内の別のデザインの保存
- 3. マスクとチャンネルの使用**
- シナリオに沿った、適切なレイヤーマスクの作成と編集（マスクパネルの使用、マスクへのペイント、選択範囲のマスクへの変換など）
 - レイヤーマスクおよびベクトルマスクを使用する利点の説明
 - カラーチャンネルとアルファチャンネルの違いの説明
 - プリプレスに適したスポットカラーチャンネルの作成方法の説明
- 4. 文字ツールとベクトルツールを使用した作業**
- テキストレイヤーの作成と編集
 - ピクセルベースの画像とベクトルベースの画像の違いの説明
 - シェイプツールによるグラフィックシェイプの作成
 - ペンツールによるベクトルパスの作成または編集
 - パスパネルでパスを管理する方法について
- 5. 写真の調整と処理**
- シナリオに沿った、適切な調整レイヤーと色調補正コマンドによる写真のカラーと階調の補正（オプションの内容：レベル、トーンカーブ、色相・彩度、自然な彩度、明るさ・コントラスト、シャドウ・ハイライト、自動カラー補正）
 - 調整レイヤーを使用する利点の説明
 - 色調補正パネルを使用した調整レイヤーの作成と管理
 - トーンカーブ、色相・彩度、白黒の調整レイヤーによる画像の適切な色調補正
 - 微調整によるカラー画像の白黒への変換
 - 複数の写真からのパノラマの作成
 - HDR Pro に統合による画像のダイナミックレンジの拡大
 - レンズ補正フィルターによるレンズ関連のエラーの補正（オプションの内容：色収差、ゆがみ、周辺光量）
 - シナリオに沿った、写真のシャープの補正（オプションの内容：アンシャープマスク、シャープツール）

6. 画像のレタッチと操作

- ・ シナリオに沿った、適切なレタッチ手法の使用（オプションの内容：コンテンツに応じた塗り、コンテンツに応じたオプションを含むスポット修復ブラシ、修復ブラシ、パッチツール、コピースタンプツール、コピーソースパネル）
- ・ シナリオに沿った、適切なパペットワープの使用によるオブジェクトの変形（オプションの内容：リムの再配置、ポートレイトのレタッチ、オブジェクトの重なり順の変更、写真のゆがみ補正）

7. Adobe Camera Raw 6 での作業

- ・ 主な Camera Raw 調整設定の目的の説明
- ・ シナリオに沿った、Camera Raw での適切な部分補正（オプションの内容：補正ブラシ、グラデーションフィルター、スポット修正ブラシ）
- ・ Camera Raw コントロールを使用した輝度ノイズとカラーノイズの軽減
- ・ Camera Raw から Photoshop へのワークフローの説明
- ・ 特定のオプションによって Camera Raw で JPEG または TIFF を開いて操作する方法
- ・ Camera Raw から JPEG へのワークフローの説明

8. 画像のペイントとフィルター操作

- ・ シナリオに沿った、適切な混合ブラシとそのオプションの使用
- ・ シナリオに沿った、適切な絵筆ブラシの設定の調整
- ・ シナリオに沿った、カラー選択の適切な方法の選択と使用（オプションの内容：HUD カラーピッカー、スポイトツールとサンプルリング、スウォッチパネル、カラーパネル、カラーピッカー）
- ・ スマートフィルターを使用する方法と理由
- ・ グラデーションとパターンの作成と使用

9. Photoshop での作業

- ・ Photoshop 内で画像を表示、管理、開くための Mini Bridge の使用
- ・ パネルの配置方法とワークスペースの管理方法の説明（オプションの内容：パネルの配置と結合、ショートカットのカスタマイズ、カスタムワークスペースの保存、ワークスペーススイッチャーの使用）
- ・ タブ付きドキュメントおよびアプリケーションバーのコントロールの操作（オプションの内容：タブ付きドキュメント、ドキュメントレイアウトメニュー、スクリーンモード、キャンバスの回転、アプリケーションフレーム、N アップ）
- ・ シナリオに沿った、ドキュメントウィンドウでの適切なズームとパンの方法の選択（オプションの内容：新しいスクラブズーム機能）
- ・ シナリオに沿った新規ファイルの作成（オプションの内容：サイズ、カラーモード、解像度）
- ・ シナリオに沿った、適切な画像のサイズ変更（オプションの内容：画像解像度ダイアログボックス、再サンプルコントロール、キャンバスサイズダイアログボックス、変形オプション、切り抜きツール、コンテンツに応じて拡大・縮小）

- ・ シナリオに沿った、画像の切り抜きと角度補正の方法（三分割法のグリッド、遠近法の切り抜き、ものさしツールの角度補正オプション）
- ・ Photoshop および Bridge による画像への著作権その他のメタデータの追加
- ・ 一般的なファイル形式と画像を各形式で保存する場合の長所と短所について
- ・ Windows および Macintosh で 32 ビットモードと 64 ビットモードを切り替える方法の説明と各モードの利点について
- ・ Photoshop のカラーマネジメントのプロセスについて（オプションの内容：カラー設定、カラープロファイルの変換と割り当て、保存ダイアログボックスでのカラープロファイルの埋め込み、プリントダイアログボックスのカラーマネジメント設定）

10. プリント用および Web 用の出力

- ・ シナリオに沿った、プリントダイアログボックスでの出力用の設定
- ・ シナリオに沿った、Photoshop での画像のソフト校正
- ・ Adobe Bridge を使用した Web ギャラリーの作成
- ・ シナリオに沿った、Web およびデバイス用に保存ウィンドウのコントロールによる Web 用の写真およびグラフィックの最適化
- ・ レイヤーに基づくスライスとスライスツールによる、Web レイアウトの複数ファイルへの適切なスライス

模擬試験

以下の模擬質問に回答して、ACE 試験に出題される種々の質問を体験してください。ここでの結果は、実際の試験での結果を示すものではありません。完全に試験の準備をするために、試験準備ガイドでトピック範囲と目的をしっかりと確認してください。

1.1 シナリオに沿った、境界線を調整およびマスクを調整によるソフトおよびハードエッジの詳細の取得

髪が風になびいているモデルの輪郭を選択しています。髪の毛の部分とモデルの肌のスムーズな境界線の両方を取り込む選択範囲を作成するには、どの機能を使用しますか。

- A. 境界線を調整ダイアログボックス
- B. 自動選択ツール
- C. マグネット選択ツール
- D. ソフトライト描画モード

正解：A

2.2 結合された HDR 写真のゴースト現象の原因と解決策の説明

HDR 写真のゴースト現象の原因として最も可能性が高いものはどれですか。

- A. 撮影時にシーン内のアイテムが動いた
- B. カメラで不適切なホワイトバランスの設定を選択した
- C. JPEG ではなく Raw ファイルを撮影した
- D. 高い ISO 設定で撮影した

正解：A

3.1 シナリオに沿った、適切なレイヤーマスクの作成と編集（マスクパネルの使用、マスクへのペイント、選択範囲のマスクへの変換など）

レイヤーマスクの境界線から選択範囲を読み込むことができるのはどの方法ですか。

- A. レイヤーパネルで、レイヤーマスクサムネールを Ctrl キー（Windows）または Command キー（Macintosh）を押しながらクリックする。
- B. レイヤーパネルで、レイヤーマスクサムネールを Alt キー（Windows）または Option キー（Macintosh）を押しながらクリックする。
- C. レイヤーパネルで対象となるレイヤーマスクを選択し、レイヤー／レイヤーマスク／適用を選択する。
- D. レイヤーパネルでレイヤーマスクを選択し、選択／マスクを調整を選択する。

正解：A

4.1 特定の Raw 画像ファイルの輝度ノイズとカラーノイズの軽減

影の領域に多数の小さなカラーノイズの点が含まれる Raw の写真を処理しています。このカラーノイズを軽減するには、Adobe Camera Raw の「ディテール」タブでどの設定を変更しますか。

- A. 「ノイズ軽減」のカラー-slider の設定を大きくし、「ノイズ軽減」のカラーのディテール slider の設定を若干大きくする。
- B. 「ノイズ軽減」のカラー-slider の設定を最小し、カラーのディテール slider と輝度のディテール slider の設定を最大にする。
- C. シャープの「半径」の slider と「適用量」の slider の設定を大きくする。
- D. 「ノイズ軽減」の輝度 slider と輝度のコントラスト slider の設定を小さくする。

正解：A

5.2 シナリオに沿った、適切な混合ブラシのオプションの選択と使用

混合ブラシツールを使用して写真にペイントしています。背景レイヤーの手前にあるレイヤーで作業しており、オプションバーの「全レイヤーを対象」を有効にしています。写真から複数のカラーをサンプリングし、そのカラーをブラシの塗料リザーバーに補充するとします。どのように操作しますか。

- A. Alt キー (Windows) または Option キー (Macintosh) を押しながら、ドキュメントウィンドウで写真をクリックする。
- B. Shift キーを押しながら、ドキュメントウィンドウで写真をクリックする。
- C. 混合ブラシツールのオプションバーで自動読み込みオプションを有効にする。
- D. 混合ブラシツールのオプションバーで自動カラー補充オプションを有効にする。

正解：A

6.2 シナリオに沿った、適切なパペットワープの使用によるオブジェクトの変形 (オプションの内容：リムの再配置、ポートレイトのレタッチ、オブジェクトの重なり順の変更、写真のゆがみ補正)

パペットワープを使用して単一レイヤーの写真のゆがみを補正しています。パペットワープを非破壊的に使用して、画像の品質を低下させずに、時間をかけて複数の変更を加えることができるようにするとします。どのように操作しますか。

- A. レイヤーをスマートオブジェクトに変換した後、パペットワープを適用する。
- B. 背景を通常のレイヤーに変換した後、パペットワープを適用する。
- C. 複製レイヤーにパペットワープを適用した後、2つのレイヤーを1つに結合する。
- D. パペットワープを使用してピンを配置した後、Shift キーを押しながらピンをドラッグする。

正解：A

7.7 強化された画像補正機能の使用

Photoshop を 32 ビットアプリケーションとして実行したときと比較した場合、Photoshop を 64 ビットアプリケーションとして使用することによって処理速度が最も高速化されるのは、どのような状況ですか。

- A. サイズが非常に大きいファイルで作業しているとき
- B. RGB または Lab モードファイルで作業しているとき
- C. フィルターギャラリーのフィルターを適用しているとき
- D. Web 用に保存ダイアログボックスで作業しているとき

正解：A

8.3 シナリオに沿った、描画色の選択方法の説明（オプションの内容：HUD カラーピッカー、スポイトツールとサンプルリング、スウォッチパネル、カラーパネル、カラーピッカー）

画像を開き、ブラシツールを選択しています。ペイントに使用できる新しい描画色を読み込むとします。どのように操作しますか。

- A. Option キー（Macintosh）または Alt キー（Windows）を押しながら、画像のピクセルをクリックする。
- B. スウォッチパネルメニューから「スウォッチの読み込み」を選択する。
- C. 画像のピクセルを右クリック（1 ボタンマウスの場合は Control キーを押しながらクリック）する。
- D. カラーサンプラーツールに切り替えてクリックし、B キーを押してブラシツールに戻す。

正解：A

9.7 シナリオに沿った、画像の切り抜きと角度補正の方法（三分割法のグリッド、遠近法の切り抜き、ものさしツールの角度補正オプション）

2つの写真を開いています。大きい方の写真を切り抜いて、そのサイズが小さい方のサイズと同じになるようにするとします。どの処理が最も効率的ですか。

- A. 小さい方の写真をアクティブにする。切り抜きツールを選択し、前景ボタンをクリックする。大きい方の写真に切り替えて、ドラッグして切り抜きの境界線を作成し、「OK」をクリックする。
- B. 小さい方の写真をアクティブにする。「すべてを選択」を選択する。大きい方の写真に切り替えて、ドラッグして切り抜きの境界線を作成し、「OK」をクリックする。
- C. 切り抜きツールを選択し、小さい方の写真でドラッグして切り抜きの境界線を作成する。切り抜きの境界線を大きい方の写真にドラッグし、Enter キー（Windows）または Return キー（Macintosh）を押す。
- D. 大きい方の写真をアクティブにする。イメージ／画像解像度を選択する。ウィンドウメニューで小さい方の画像の名前を選択し、「OK」をクリックする。

正解：A